

在宅から支える食事支援

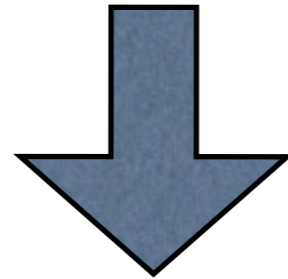
医療法人社団 らぽーる新潟 ゆきよしクリニック

言語聴覚士

池浦一樹

はじめに

在宅生活において、摂食・嚥下機能への支援



必須

しかし...

- ・ 介護保険サービス利用上限額
- ・ 摂食・嚥下障害への周囲の理解
- ・ 専門スタッフの不足

症例

1. 胃瘻造設後に退院された利用者
2. アレキサンダー病利用者

Aさん（60歳代 脳幹梗塞 多発性骨髄腫 胃瘻造設後退院）

要点

- ・ 胃瘻造設退院直後より介入
- ・ 歯科医師と連携し嚥下造影、内視鏡を行う事ができた（水分5cc不顕性誤嚥あり）
- ・ 歯科医師と情報を共有しながら段階的に食形態を向上させる
- ・ 定期的に嚥下造影、内視鏡を行う
- ・ 一食経口摂取可能となる
- ・ 腰椎圧迫骨折で入院
- ・ 5月21日 多発性骨髄腫のため逝去

アレキサンダー病

稀な進行性の遺伝性神経変性疾患。

発症年齢により乳児型、若年型、成人型に分類される。

また、難病情報センター研究班では大脳優位型、延髄・脊髄優位型、中間型と分類している。

病態については研究が進みつつあるが十分解明されておらず、治療は対症療法にとどまっている。

成人以降の発症では筋力低下、球症状、運動失調等、延髄・頸髄の症候を呈す。

MRIで延髄・頸髄の萎縮を特徴とする。

難病情報センター難治性研究班情報 資料より作成

Bさん（40歳代 アレキサンダー病）

要点

- ・ 普段から危機意識が低く、何でも大丈夫と
- ・ ノロウイルスに感染後、脱水状態
- ・ 水分摂取が思うように行えない状態
- ・ 新潟大学歯学部と連携をとり、食事形態の助言と支援
- ・ 水分摂取はとろみをつけるようになる
- ・ 歯科医師から担当者会議にも参加してもらえる環境が整う

口腔機能の向上と栄養と運動の関連

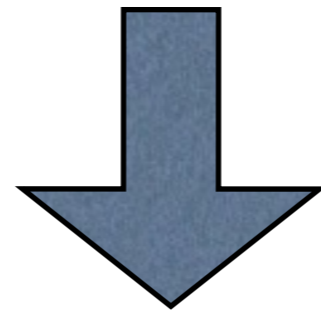
口腔機能、栄養、運動器は、それぞれが深く関わっています。



(社)新潟県歯科医師会 (財)新潟県歯科保健協会
口腔機能アップ!元気なお口で寝たきり予防一介護予防従事者向けヒント集一より抜粋

問題点

- ・ 介護保険サービス利用上限額の問題
- ・ 周囲の理解不足
- ・ 専門スタッフの不足



開始の遅れ、又は不介入

「every day 食べる」会



医療法人社団

らぽーる新潟

〒950-0122

新潟市江南区稲葉1-4-3

mail : yukiyosi@medical.email.ne.jp

TEL : 025-382-1005

社会福祉法人 **豊潤舎**

〒950-0922

新潟市中央区山ニツ531-1

mail : office@hojunsya.jp

TEL : 025-257-7139